

厳しさが増す中小・非製造業の収益環境

～背景に内需の低迷と価格転嫁の遅れ～

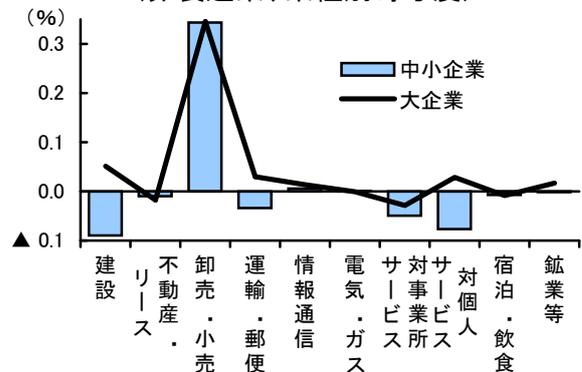
- (1) 2010年9月の日銀短観において、大企業や中小・製造業が2010年度収益計画を大幅に上方修正したのに対し、中小・非製造業は下方修正（図表1）。背景として、①内需の低迷、②価格転嫁の遅れ、の2点を指摘可能。
- (2) まず、内需の低迷により、売上が伸び悩み。中小・非製造業は輸出依存度が低く、国内販売のシェアが高いため、内需不振が売上に大きく影響。とりわけ、地方の公共事業に依存する建設業や、零細企業が多い対個人サービス業などで、売上が下振れ（図表2）。
- (3) 次に、価格転嫁の遅れから、利益率が悪化。大企業の変動費率を引き下げて利益率を改善させたのに対し、中小企業は変動費率の上昇を主因に利益率が大幅に悪化（図表3）。短観における「販売価格DI」と「仕入価格DI」の差をみても、大企業が緩やかながら改善に向かっている一方で、中小企業は足元で大きく悪化（図表4）。長引くデフレを背景に、販売先からの値下げ要請や消費者の低価格指向の強まりにより、中小企業の価格転嫁が難航している模様。
- (4) 先行きを展望しても、①公共事業の縮小や所得環境の低迷が持続すること、②大幅なGDPギャップを背景に物価下押し圧力は根強く、価格転嫁が困難な状態が続くこと、などから、中小・非製造業の収益環境は一段と厳しくなることが想定される。

(図表1) 2010年度収益計画の修正率
(6月調査→9月調査)

		(%、%ポイント)		
		売上高	経常利益	売上高 経常利益率
大企業	製造業	+1.2	+7.3	+0.25
	非製造業	+0.4	+4.2	+0.13
中小企業	製造業	+1.1	+6.4	+0.15
	非製造業	+0.1	▲5.1	▲0.11

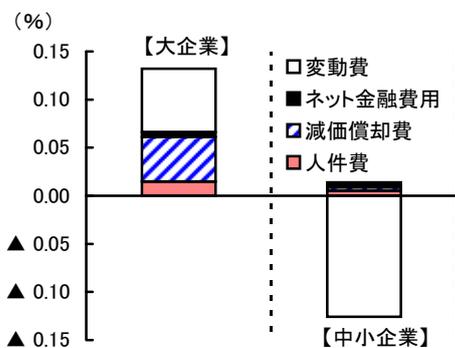
(資料) 日本銀行「短観」

(図表2) 2010年度売上高の修正率
(非製造業、業種別寄与度)



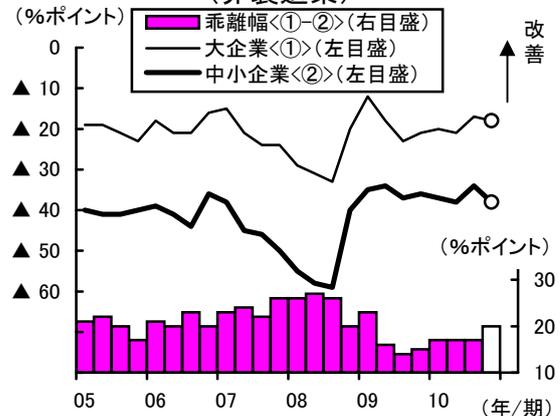
(資料) 日本銀行「短観」

(図表3) 2010年度売上高経常利益率の修正幅
(非製造業、費用別に要因分解)



(資料) 日本銀行「短観」

(図表4) 「販売価格DI-仕入価格DI」の推移
(非製造業)



(資料) 日本銀行「短観」

(注) 白抜きは、先行き判断。